

いずよう魅力化協議会だより

No. 1 令和7年7月14日 島根県立出雲養護学校

6月10日(火)に、令和7年度第1回いずよう魅力化協議会を開催しました。今回は新規グランドデザイン、今年度の学校経営プラン、重点目標の説明を行った後、「これからの『地域で生きる人になる』を語ろう～卒業生の姿から」をテーマに、グループに分かれて協議を行いました。

委員の皆様のご紹介

今年度、新たに5名の方にご参加いただき、12名の皆様に委員としてご協力いただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

赤木 亮一	神西コミュニティセンター長
芦矢 京子	島根県重症心身障がい児(者)を守る会 理事
稲根 克也	出雲観光協会事務局長
宇谷 留美	元PTA会長
片岡 久	さざなみ学園長
河上 史子	出雲フィンランド協会 事務局長
武田 泰巳	サンサン保育園 園長
久谷 太志	PTA会長
武部 豪	石見銀山世界遺産センター 統括責任者
細木 皇宏	三刀屋太鼓振興会 事務局長
堀西 雅亮	島根県外国人サポーター
森山 和子	OfficeSou 代表

委員さんより、ひと言

委員の皆様には「いずよう魅力化協議会に期待すること」「こんな会になるといいな」を伺いました。

・学校経営方針のブラッシュアップ、新しいメンバーの加入と、今年度もワクワクできる会になりそうで、楽しみです。

・具体性、実効性のある提案ができる会にしたいと思います。
・先生方の想いなども聞かせていただけると良いです。
・今後の子どもたちの未来について語り合えるといいですね。

第1回いずよう魅力化協議会の様子

新規グランドデザインや今年度の学校経営方針について、三代校長より説明を行いました。説明後、委員の皆様からご承認いただきました。



高等部の卒業生の進路状況について説明した後、「これからの『地域で生きる人になる』を語ろう」をテーマに協議を行いました。



<グループ協議の話題>

- 親とはできない体験を学校ではできる。どんどん地域に出て人とかわかり、理解者を増やしてほしい。
- 地域の事業所や様々な交流の場等できかわってくださる方々同士の連携も大切にしてほしい。
- 外国にルーツのある児童生徒の学習の様子やご家族の困っていること等について、発信があると良い。
- 日本や外国の文化を知る活動やスポーツ等を通して、多様な人々がお互いを知ったり、つながったりする活動をすると良い。



第2回のいずよう魅力化協議会は10月23日(木)を予定しています。HP等でお知らせします。